

# 日本最南端の島の監視体制を高度化 (東京都小笠原村)

事業者：国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所



監視設備を持つ観測拠点施設



**対策名：**No.76 沖ノ鳥島の監視設備の電源系統冗長性等に関する緊急対策

**事業名：**沖ノ鳥島海岸 海岸維持管理事業

- ポイント**
- 電源設備の劣化状況が即時に把握出来るよう、電源設備にセンサを増強及び表示システムを改修することで、管理システムの高度化を実施
  - 安定的な継続監視の実現のため、通信系統の二重化を実施

### 地域の概要・課題

沖ノ鳥島は、東京から約1,700km離れた我が国最南端の領土です。

沖ノ鳥島は国土面積を上回る約40万平方キロメートルの排他的経済水域の基礎となることから、島の保全は極めて重要です。

### 事業の概要

平成30年台風第8号による監視設備の損傷を踏まえ、沖ノ鳥島の監視・観測設備等について緊急点検を行い、通信回線の二重化や電源設備の管理高度化等の対策を緊急的に実施する必要性が生じました。

現地において、上記緊急対策を令和元年8月に実施し、完了しました。

### 【見込まれる効果】

安定的な監視体制が確保されることにより、今後台風等により海岸保全施設に被害等が発生した場合には、高度化による“早期発見”や二重化による“継続監視”が可能となります。

また、不審な船舶が接近した場合には確実に発見でき、海上保安庁等との関係機関と連携し、早期対応がより確実に実施することが可能となり、監視体制の強化が図れます。